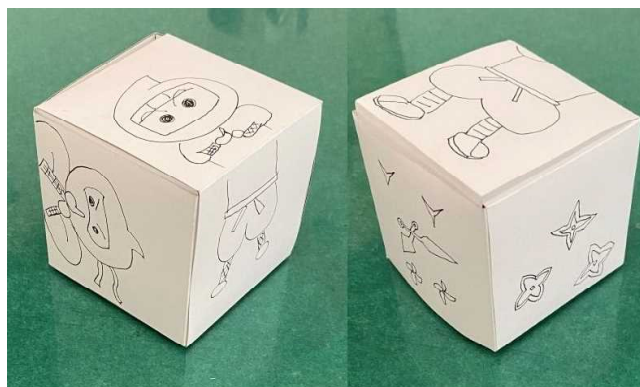
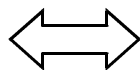
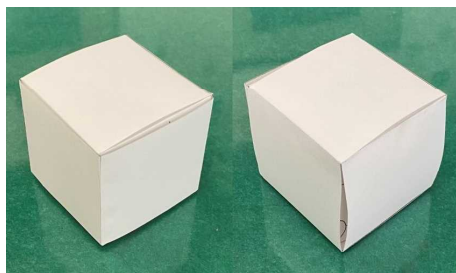


多面キューブを作ろう

1 はじめに

突然、特別支援学級の授業を1時間することになりました。仮称「多面キューブ」を作らせることにしました。正式名称は分かりません。正方形4つを輪にしたものを飾り輪のようにしてつなぎ、面を回すことで、表に出る面が変わるというものです。作品例として、忍者二人と手裏剣を6面に書きました。面を変えることで、忍者が消えるというものです。



2 本時のねらい

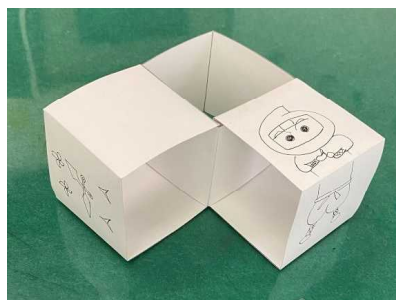
- できるだけ自分で作る。
- 線の上をまっすぐ切ることができる。

3 指導過程

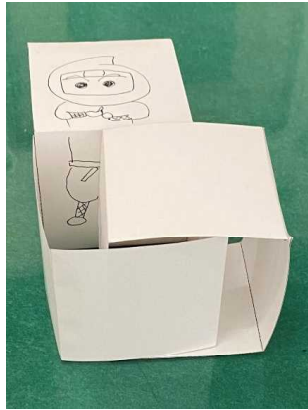
- (1) 真っ白な正六面体から忍者が出てくることを見せる。
今日はこれを作ります。みなさんは、「消える」「変化する」ものを絵に書いてもらいます。
- (2) 今日のがんばることを伝える。
○できるだけ自分で作ります。どうしても困ったときは先生を呼びます。
○切るところは、線の上をまっすぐに切ります。
- (3) 多面キューブを作る。(ワンステップずつ説明と作業を繰り返す。)
 - ア) 部品①を切り取る。線の上をまっすぐに切ろう。
 - イ) 部品①の点線をボールペンでなぞる。(折り目をきれいにするため)
 - ウ) 部品②③も同様に作る。
 - エ) 部品①を輪の形になるようにのり付けする。番号「①」が裏になるように貼る。②③も同様。
 - オ) 部品②を部品①の中に通して、部品①と②がつながるように輪の形にのり付けする。
 - カ) 部品③を部品②の中に通して、部品②と③がつながるように輪の形にのり付けする。
 - キ) 部品②に部品①③を差し込んで、正六面体を作る。
 - ク) 「消える」「変化する」ものを面に書く。
- (4) 各自が作った作品をみんなに紹介する。

※組み立て方

- ① 3つの部品をLの形に並べる。



- ② 部品を順番に部品②に差し込む。
このとき、表にしたい面が上になるように部品を回転させる。



4 おわりに

ていねいに切ること、のり付けすることはできました。

組み立てるのが少し難しかったでしょうか。

「消える」「変化する」ものを考えつくことが難しかった。事前に予告が必要である。